### forecast

指定された時系列データに対して予測データを出力します。

#### 構文

forecast [OPTIONS] TIME\_SERIES\_FIELD [by GRP\_FIELD, ...]

必須パラメータ

**TIME\_SERIES\_FIELD**

時系列データを持つフィールド

#### オプションパラメータ

**count=INT**

出力するデータ行数（デフォルト: 5）

**period=INT**

データの時系列周期。指定しない場合は、高速フーリエ変換（Fast Fourier Transform, FFT）を利用して自動的に周期を算出します。

**seed=INT**

固定シード値。同じ入力に対して同じ結果を維持したい場合にシード値を指定します。

**time=FIELD**

時間レコードとして使用するフィールド（デフォルト: **\_time** フィールド）。

**by GRP\_FIELD, ...**

byディレクティブとともに集計に使用するグループ化フィールドのリスト。区切り文字はカンマ（,）です。このオプションはTIME\_SERIES\_FIELDの後に指定してください。

#### 説明

[timechart](https://docs.logpresso.comnull)コマンドなどで時間フィールドのデータ間隔を一定に設定した後、forecastコマンドを使用することを推奨します。入力データはパーティションごとに4件以上必要であり、periodの値は入力データ件数の1/2以下でなければなりません。

#### 使用例

**count**フィールドの予測データを出力

forecast count

**traffic**フィールドの時系列周期を5に設定し、**set\_time**フィールドに記載された時間に基づいて時系列予測データを出力。同じ結果を維持するために固定シード値として1234を指定

forecast period=5 time=set\_time seed=1234 traffic

**region**フィールドを基準に、**sent\_bytes**フィールドの時系列予測データを10件ずつ集計して抽出

forecast count=10 sent\_bytes by region